



曾谷の風

学校教育目標『ゆめ あすから』チャレンジする子どもたち

市川市立曾谷小学校
校長 田部井 伸郎

→爽風学園ブログはこちら

→「爽風だより」はこちら

→学校ホームページはこちら

曾谷っ子の合言葉

元気・本気・勇気」～3つのキを育てよう～



卒業を祝う会

先週2月28日（金）に6年生の「卒業を祝う会」が行われました。行事に合わせて学校運営協議会が開かれましたので、委員の皆様にもご覧いただきました。また、授業参観で、6年生の保護者の皆様にもご覧いただきました。【関連】→[ホームページ記事](#)

まず入場。6年生がペアの1年生と手をつないで登場です。

トップバッターは3年生。玉入れ、なわとび、カード返して勝負します。忸度なしの好勝負。結果はすべて6年生の勝利。「やっぱり6年生はすごいね！」

次は2年生。歌と踊りを披露してくれました。歌「夢見るジャンプ」は、「6年生は1番！」とキメのポーズもしっかり決まっていた。

続いて4年生。6年生が1年生の時からダンスヒット曲メドレー。6年生も一緒に踊る、とてもいい雰囲気。特に「ギリギリダンス」は6年生も上手でした。



5年生。ダンスを披露しました。周りを巻き込み、最後はフロアの児童すべてを巻き込んで踊りました。これもとてもいい雰囲気。そのあとは人文字の「オメデトウ！」が上手でした。4月からこの曾谷小学校のリーダーとしてお願いします。

在校生の最後は1年生。

歌とともに、順番に自分のペアの6年生の写真を、6年生の名前を呼びながら両手で大きく掲げました。6年生もとても嬉しそうだったのが印象的です。

トリはもちろん6年生。ステージ上で、よくありがちな「ギリギリ」の寸劇があり、その都度「ギリギリセーフ！」の掛け声とともに、6年生全員が立ち上がり「ギリギリダンス」が始まります。だから先ほど上手だったのだとわかりました。そのあとは「3月9日」の合唱。6年生の児童で選んだそうです。卒業の歌なので、会を締めくくるにはぴったりの曲でした。



6年生の退場後には、悲しくて泣いている子が。曾谷小学校では縦割りの「[なかよし活動](#)」をしているので、1年生以外にも6年生とかかわる子が多いためにしょうし、6年生がいいかわりをしてくれたからでしょう。6年生ありがとう！とてもいい会でした。

寒さに勝とう！カツカレー

2月25日（火）の給食は、6年生が家庭科の「給食のメニューを考えよう」の学習でベスト1となり、実際に献立に選ばれた「寒さに勝とう！カツカレー」献立（6年2組）でした（前回は2月14日の「[HAPPYバレンタイン](#)」献立）。

メニューはカツカレーに冬野菜のマリネ、花みかんです。他の学年の子ども達も大喜びでした。

この日は、献立を考えた5名中代表の2名が、台本を考え、放送をしました。献立の紹介だけでなく、ダジャレとなぞかけを披露しました。



なぞかけは、「給料日前にカレーを作る母とかけて、試験前の教師の注意ととく」その心は、「堪忍！具は無し（カンニングは無し!）」、今回も上手ですね。

当日の朝はとても寒かったので、「寒さに勝とう！カツカレー」献立はぴったりだったと思います。素敵な献立を考えてくれてありがとう。

【関連】→[授業風景](#) →[今日の給食](#)

おやじの会「餅つき大会」

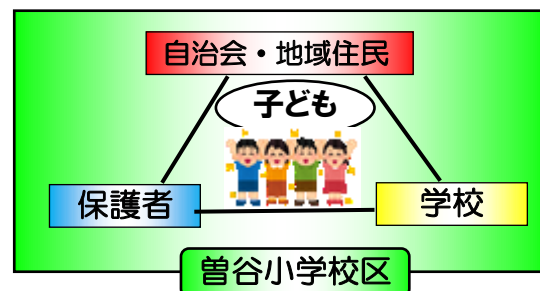
3月1日（土）におやじの会「餅つき大会」が曾谷小学校の校庭で行われました。これは、6年生の卒業を記念して、おやじの会（保護者のお父さんを中心としたボランティア組織）が発起人となって計画を進めてきました。



協力してくださったのは、おやじの会・自治会・地域学校協働活動推進員のネットワークによる地域住民の皆様です。会場を学校とすることで、学校を核とした、地域を挙げたイベントとして行うことができました。【関連】→[ホームページ記事](#)

その昔、この曾谷の地域ではたくさんのイベントが行われてきたと聞いています。そのため、自治会・地域住民の方々には様々なノウハウがあります。また、おやじの会の皆様は体がよく動きますが、コロナ禍によって様々な行事が何年にもわたって中止となってしまったので、ノウハウが少ない。

そこで双方の強みを生かして、子どもたちのために協力していただきました。そこに学校も開催場所・道具・周知・各種手続き等で協力することで、子どもを育む保護者、自治会・地域住民、学校の三角形の中で子どもたちのためのイベントができたと思います。まさにこれが、学校ができる、



「学校を核とした地域コミュニティづくり」への貢献だと思います。

正確に人数を把握していませんが来客数は200名を超えているでしょう。とても大きなイベントとなりました。恒例化していくのも良いことだと思います。